播陽古城記

上下合冊

216.4
B66

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66

ガラス使用

216.4
B66

播陽古城記 上

赤松城蹟

白籏城　赤穂郡　赤松庄
　　赤松村

抑此白籏城ハ　村上天皇第七皇子具平親王五代曾孫
右大臣雅定卿曾孫従三位侍従季房卿嶋羽院ノ時播州
国司トナリ赤穂郡右大内村ニ移リ天永三年春夏高山峨
々ノ間ニ大河流ル地天ヨリ白幡ト現シ又白雲ト変ジ
赤穂郡赤松庄山上ニ怪雲立白幡ト現レ降ルト夢ミル所同国
由告ケシカハ國司之ヲ聞キ大ニ喜ヒ愛ニ居住城ヲ営メント新三城ヲ
築キ民ヲ改メ赤松ト号ス且又赤松氏ノ元祖ナリ其嫡子播磨
守頼範次ニ伊豆守則景ト云ヒ元暦中源頼朝卿ト大功

336385

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66　ガラス使用

アリ恩賞ヲ同國佐用郡ヲ領ス在陣ニテ天正ノ頃ニ三十六家ニ分ト雖モ繁栄シテ天正ノ頃ニ三十六家ニ分ト雖モ就中李房八世孫赤松二郎在京ノ時則村入道ニテ文武兼備ノ名将ニテ後醍醐帝時北條相模高時征伐ノ大功アリ

菩縄城

赤穂郡　佐用在　菩縄山　城主　赤松律師則祐

赤松入道圓心ニ三男アリ道ハ善ヲ号ス伊豆家祖タリ元徳山ノ座主尊雲親王ニ仕ヘテ吉野津川ノ難ヲ経テ令旨ヲ蒙リ播磨ノ飯ノ元弘二年ニ城ヲ築キ足所ニ居ル攻入リ平仲時時益ヲ追落シ大功アリ又屋モ朝敵ニ亡シカラズ其功ヲ軽ンジ佐用庄ノミ賜ハル是恨ミヲ建武ノ乱ニ足利尊氏倒ス

大功有り

殿原山城

加西郡　在田郷　殿原山　城主　在田肥前守朝則

赤松圓心ノ長子ニシテ信濃守範資ノ子ニシテ武勇名誉アリ父範資ノ損州尼崎ノ城主タリ元弘ニ官軍ニ大功ヲ立建武ニハ尊氏ニ志ヲ白籏ニ依リ新田氏ノ敗ヲ大功アリ朝則又和田青淵南合戦ニ功アリ

有年山城

赤松信濃守三男本郷祖ナリ山名時氏作州ヘ乱入時多ニ馳セ向ヒ大功アリ　赤穂郡　有年　城主　本郷掃部助直頼

矢野山城

川郡　矢野村　城主　赤松彦五郎則實

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

赤松信濃守四男端山祖より文和年神南合戦功アリ其子兵
小國播磨奥住判官栗生大郎左衛門之ニ死ス

朝水城　宍粟郡　廣瀬宮内少輔師頼
城主
信濃守五男廣頼ニ元祖より其子
親其次親茂五代相續ス天正ニ頃宇野下野此城ニ居シ
秀吉其所ヲ領シ玉ノ時此城ヲ退クト云フ

天神山城　印南郡　志方庄　西飯村
城主　赤松左兵衛督則祐
則心四男幼年より大力ニより建武ニ一族ト別レ只一人官
軍ニ備ヘ山名氏清大軍ヲ以テ南侵ス與良親王
判ス及ンデ本國ニ皈リ加東郡清水ニ於テ長男刑

部大輔氏春二男家則一族郎等百餘十七人至徳三年九
月二日悉ク自殺シテ名ヲ千歳ニ殘ス

三草山城　加東郡　福田庄　三草村
城主　赤松出羽守則友
則心ノ五男建武ニ武功顯シ文和年中山名ト戦ヒ二男戦死タル
人より此三草山普元暦ニ源義経手氏追討時此より一ノ谷ヘ山
中險ヲ得テ攻寄セケルニテ要害ナリ

手福山城　佐用郡　手福村
城主　佐用兵庫助範家
父得手刑部以為範佐用祖赤松尚家ナリ元弘
元年四月則心六波羅ヘ攻入リ縄手ニ合戦ニ関東大将
名越尾張守高家ヲ射殺セシ人ナリ

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

山崎城　宍粟郡　山崎　城主　釜内小次郎範春

手房卿八也孫赤松ト同家釜内祖建武尊氏ニ属ス

光明寺城　加東郡　上滝野光明寺山

観應ニ足利尊氏ト舎弟直義ト確執起リ直義南朝ニ属シ播州ニ下向シ石當右馬頭上杉左馬頭大野遠江等ト共ニ光明寺ニ據リ尊氏西國ヨリ上リ書写山ニ着ク赤松ト共ニ観應二年二月三百光明寺ニ押寄セ尊氏ハ引尾高師直師泰ハ注尾ニ陣シ攻戦ヒ尊氏敗レテ京ニ退ク師直兄弟共ニ死ス此時書山阿波守光明寺後

法トシテ東條小田ニ陣セシカ同ク退キケン

神出山城　加古郡　城主　神出左エ門尉某

赤松ノ一族神出ノ祖建武ニ足利ニ属シ武功多シ

那波山城　赤穂郡　那波左近　城主　神野弥三郎左馬亮氏

赤松同家又武功アリ

谷口山城　同郡　谷口村　城主　小川小太郎丹波守秀春

赤松ノ一族山名ノ合戦ニ大功ヲ顕ハス

野中城　印南郡　野中村　城主　野中八郎志ヶ守直國

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

赤松入道家より建武二新田義顯越前金ヶ崎ニ籠りし時
討手ニ加ハり味方ノ舟ニ乗後しより中村ノ助ケテ肩ニカケ敵三人ヲ
切り徐ニ船中ニ引入ル大勇士ニテ大手記ニ賞ぜられし所なり

春日山城　神東郡　八千草庄　飯屋村

城主　後藤三郎左ヱ門其明

藤原奥名公後裔後藤兵衛尉基キ代孫赤松氏慕下
なり文和年中神南合戦ニ山名カ兵ト勇戦ス死ス後裔仁
順赤松政則當国ニ入給ヒシ時ニ後裔基治トテ武功ヲ尽セシ
其末なり天正年ニ後裔伊勢守基信ト云ヒシカ此城ヲ守り
秀吉公ノ為ニ退けり

廣峯山城　飾東郡　大野郷　廣峯山

城主　廣大別當昌俊

天津彦根命苗裔當山開辟ヨリ侍りけん家より建武ニ至
利ニ属し京尼崎兵庫ニ軍功ヲ顯り赤松氏置塩山ノ城ヲ
築きし時ハ祈願所なり神西永良城合戦ニ廣峯新四郎小
塩ヲ催促ニ従ヒ永良城ヲ守り武功ありテ赤松感状今ニあり

河邊城　神東郡　河辺村

城主　大野彈正忠氏

赤松幕下武功ありテ天正ニハ大野左ヱ門岩崎六郎左ヱ門
此城ヲ守ル

天神山城　飾西郡　加谷庄　前庄村

城主　大河内播磨守満則

大河内祖ヨリ律師則祐ノ二男ヨリ舎兄下總介義則
白幡城主ヨリ明徳二年山名氏清京ヘ攻上りし時大内義弘

336385

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

赤松義則大ニ苦戦シ終ニ氏清ヲ討亡ス帝ヨリ桐ニ鳳凰ノ印紋ヲ義則ニ賜ル將軍ヨリハ二引御紋ヲ賜ヒケルナリ

比延山城

多可郡　妻ノ庄　比延村　城主　大卿弥三郎頼兼

父掃部助直頼文和ノ頃ノ役ニ軍攻アリ

梶山城

揖保郡　河内庄　河内村　城主　赤松治部大輔教弘

是ヲ七條家ト云フ父ノ淡路守満村ノ德ニ山名氏清兵垣屋七右エ門ヲ討テ名アリ其ヲ右京亮教久アテ相續ニ満祐木山ニ籠リシ時ハ教久モ武勇ヲ顯ハシ之ヲ死ス其後肥後守満祐ハ永和泉守此城ヲ守リケル

坂城

又坂本城トモ云フ

飾西郡　飾之卿　坂本村　城主　赤松左京大夫満祐

律師則祐孫義則三男ナリ山名氏清ヲ亡シテ後武功ニ誇リ權威ヲ募リ書写坂本ニ名城ヲ築キ一國諸士之ヲ敬フ事恰モ孔子ノ如シ此時將軍義教満祐ヲ悪ミ築前守ヲ愛シ満祐カ所領ヲ奪フテ之ヲ與ヘントス満祐之ヲ恨ミ西之洞院猿楽ノ將軍饗應シ酒宴中満祐ヲ五郎教祐ヲ馬ヲ則頼ヲシテ透ヲ伺ヒ將軍ヲ討ヲ播州へ皈リケル

河合城

加東郡　河合庄　河辺村　城主　赤松備前守則尚

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66　ガラス使用

義則舎弟ナリ満祐播州ニ赴ルヤ先此城ニ下着シ祐尚ト
共ニ計リ見ヲ東條重隆山安国寺ニ首ヲ葬ルヒ
安國寺ハ尊氏武運長久國家安全ノ為メニ築キシ寺
ナリ満祐急キ書写坂本ニ赴ケルトテ木山城ニ移ル

加東ノ河合中村ニアル小堀城ノ堀城ノ枝ナリ

岩屋城　加東郡　東條谷岩屋村　城主　赤松兵部少輔祐之

義則ノ五男ナリ舎兄満祐カ討手トシテ細川持之武田信賢
赤松貞村已下一万六千余騎吉元年八月十二日ニ尼崎
ニ着ク満祐之ヲ聞テ舎弟祐之嫡子ニ五郎教祐甥
千五百ヲ以テ防ク石蟹坂人丸塚ニ陣ヲ勝ヲ得ルヒ雖モ堅

城山城　揖西郡　手柄卿中道村　城主　赤松左京亮伊豫守義雅

義則ノ六男ナリ舎兄満祐坂本ヲ此城ニ移ル義雅ハ但馬
口ヨリ攻来ル山名持豊同教清ヲ防ク此城ノ嶮岨ニシテ高
山南北ニ連リ溪境百里又眼下ニアリ村落保川流レテ誠ニ要
害ナリ然ト雖モ兵三千五百余騎之ニ據ル山名
細川兵揖東揖西ニ充満シテ入替々々之ヲ攻ルヲ愛ニ於
テ宇野上月小寺中村等三百余人之ニ死ス満祐子教
祐ヲシテ脱走セシメ見ニ依テ教祐ノ舅州ニ落ケ義雅
祐尚祐之等一族元久ヲ始メトシテ二月三十五人九月十日自殺
シテ木山城一片ノ煙トナリニケル

日数ヲ経テ漸ク木山ヘ退キケル

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

小田城　加東郡　東條谷小田村　城主　伊藤大膳太夫豊房

嘉吉乱ニ木山ニ籠リ敵ニ囲マレシ自幡城ニ牛野大田ノ諸方ハヘ之ニ加勢ヲ乞ニ行キ皈途揖西郡千本村ニテ木山落城ノ聞キ辻堂ニ入テ自殺ス

水田城　飾西郡　飾之郷坂本村　城主　赤松左馬助則頼

父越前守顕則ト嘉吉ノ満祐同意シ則頼饗應使トナリ将軍ヲ討テ木山ニ沿城ニ及ヒ朝鮮ヘ渡リシ間義則ハ男應永中赤穂ヨリ此城ニ移ル嘉吉乱ニ則頼ノ朝鮮ニ渡リ後皈朝スト云フ

善坊山城　加西郡　笠原庄下里村　城主　赤松左京亮則秦

柴褶城　揖東郡　越部庄　城主　柴崎爾八郎則重

赤松嘉吉乱ニ木山ニ討死ス

中院山城　揖西郡　屑保庄中陣村　城主　赤松掃部助則勝

父義久元久ノ古ノ乱ニ木山ニ討死ス

閼山城　宍粟郡　城主　赤松五郎蔵人元久

赤松本家別ニテ父ハ法部少輔教弘ト共ニ京ニ来リ嘉吉ニ木山ニテ教弘元久父子之ニ死ス

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66　ガラス使用

小谷城 加西郡 北條卿 小谷村

義則ノ七男直操侍者此城ニ籠リシト云 此條幼ヨリ揖西郡説ノ弁ニアッテ禅ヲ學ビ嘉吉ニ上京氏部ヲ奥シ赤松義雅ト交合郡大山ニ山名大軍ノ陣ヲ突破シテ坂本城ニ皈リ木山城ニ籠城ト聞テ九月廿日自殺ス

楯岩城 揖東郡 大田卿 矢田村 城主赤松刑部少輔則弘

是弘祖ヲ真ヲ二郎泰秀續ヲ守リシカ後ニ郡ニ移ル嘉吉ニ赤松氏滅亡ノ時満祐討手ノ武功アッテ城ヲ賜ヒシヲ真嫡ヲ彦五郎則長後ニ兵部少輔範行次ニ左馬助元範次ニ左馬助五代相續ノ秀吉時

ニ至テ退轉ス

金鐘山城 賀茂郡 河合庄栗生長村 城主中村彦左高景長

是赤松侍従季秀卿ノ世孫嫡ヲ左馬頭光未真ヲ澤四少郷ヲ景ヲ相續セシカ嘉吉ニ死ス其ニ皇ヲ子僅ニ五年ノ之ヲ抱テ嶽ニ隠レ成長シテ中村少太郎ニ満ヒ宇シ赤松氏滅亡ノ歎ヲ歎キ諸代家ヲ右見太郎雅助真島太郎将元ト謀リ赤松義雅孫二郎法師丸（後ニ赤松兵部少輔政則ト改ム）ヲ奉シ長禄二年春上洛シ三條右大臣宗量ニ仕ヘ南朝ヨリ吉野ニ旧領播州加茂ヲ賜ヒ國ニ皈リ則チ赤松太郎ニ播州河合ノ陽ニ金鐘ニ城ヲ築キ其ヲ北朝ニ献シ國賞ニ因テ播州半國ノ政ニ別府九郎ト所領ヲ儉シ打某

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66　ガラス使用

置塩山城　飾西郡置塩庄本村城主赤松左兵部輔政則
律師則祐五代孫義則曾孫義雅孫千松丸時勝カ子
ナリ千松丸才時ニ乱起リ母ト江刕ニ成長ス後政
則ノ庶ハ幼名二郎法師丸ト云ヒ中村カ忠義ニ依リ細川
勝ノ下知ニ従ヒ播刕ニ奪ヒ返シ文明元年置塩山ニ築キ之ニ移リ姫
路ニハ小寺伊勢守ヲシテ守シメ政則ハ後ニ従ヒ叙シ伊予
守トナリ三国ノ大将トシテ国家ヲ治ムル事四月三十五日四十二才ニシテ卒ス
置塩二世ノ主赤松兵部少輔政村ト云ヒ七條家ノ未タリ政則ヲ養フテ子トナス
政村ノ代ニ及ビシカトモ一旦和睦ニ及ヒ
執支浦上美濃守則宗カ嫡子掃部助村宗ノ代ニ及ビシカトモ一旦和睦ニ及ヒ
三吉ノ主赤松左京大夫播磨守晴政村長ヨリ然レトモ浦上
村宗又義尚ヲ元房ト後守ヲ室津ニ遣シ政村ヲ刺殺サ
シメ其後室津城ニハ村宗カ子実ヲ作守政宗ヲシテ守ラシム晴
政ハ之ヲ聞テ大怒リ宇野上月別所中村ヲ以テ南上ヲ討ツ細川
管領晴元ヨリ三好筑前守長基ヲ以テ加勢トシテ兵ヲ浦上
カ城三石ヲ攻浦上破レ大永七年四月二十日長刕播磨行室陣
政宗モ竜野城ヲ落チ赤松刑部大輔利考政村ノ子晴政ヲ幕下ノ
内ニ海手井ニ遁ハシ討亡サシ作刕天神山城主浦上遠江守
景宗モ村宗ノ嫡子備前ノ浮田直家ニ攻落サレ一族悉ク討死其

身衛ノ京都脱走ス
四年ノ春赤松兵部大輔出羽守義祐政ヲ失時家運
衰ヘ浮田氏ノ豪臣下ト成ル
毎年春松上總助播磨又奪シ赤松氏大衰
毛利最盛大浮田氏是ニ届ト西播磨ヲ
時又信長ヲ毛利征伐大將羽柴秀吉下向シ播磨ヲ
引カ加島ヘ移ル
元亀三年春松入道圓心蜂起ス天正八迄九三百中
七年春松氏滅亡

大聖寺城　赤穂郡

安室卿城主　赤松左衛門則房ヲ始、戦国最中ニヨリ
赤松上總助播磨又奪シ赤松氏大衰
毛利最盛大浮田氏是ニ届ト西播磨ヲ又奪シ赤松氏大衰
時又信長ヲ毛利征伐大將羽柴秀吉下向シ播磨ヲ
ヲ従ヘ則房又城ヲ開キ浮左兵衛範貞ニ二万石ヲ賜ト阿
引カ加島ヘ移ル
元亀三年春松入道圓心蜂起ス天正八迄九三百中
七年春松氏滅亡

傳基山城　揖西郡

伊保荘在城主　赤松刑部少政資

七條家采壽宮武功アリ木山落城ニ及ヒ山林ニ隠伏シ
政則起ルニ及ヒ酒臭ノ水ヲ得カ如ク大ニ喜ヒ之ニ従ヒ武功ヲ
顕シ先ツ龍雪ム

感状山城　赤穂郡

城主　赤松左太郎義村

父刑部少政資ヨリ政則ニ従ヒ武功アリ政則子ナシ義村ヲ
養ヒ政村ニ与ス

松山城　揖東郡

林田庄松山村　城主　衣笠長門守村氏

置塩幕下ニシテ村宗カ賀ヲ故ニ永正ニ備ト守野
上月攻テレ敗レテ城ヲ脱走ヲ行ヘ知ラズ

窪山城 揖東郡 林田庄 城主 谷澤甲斐大師国民

曼モ浦上ト備ト置塩討手ニ籠城シテ向道ヲ脱走ヲ行ヘ知ラズ

室城 揖東郡 加茂庄 室津 城主 赤松雅楽助則頼

赤松円心孫筑前守貞範橋ヲ建武二年足利尊氏西
国没落時赤松信濃守則貞ト共ニ此所ヲ守ル
新田義貞ニ依江田大館宗氏ヲ追テ攻ム赤松敗レテ
赤松ニ退ク貞後浦上七郎兵衛行景此城ヲ守ル應仁ニ赤
松政則當国ヘ入ルト及ヒ浦上美濃守則宗預ル其臣ヲ

庭 某ニ之ヲ守ラシム永正ニ置塩山ニ執事浦上掃部介
村宗主人政村ヲ殺シ大永元年九月廿七日室ニ花庭越後守
ヲシテ政村ヲ討テ後村宗カ子政宗之ヲ守リシカ赤松村秀ニ攻ラレ退転ス

御着城 飾東郡 南 御着村 係城ヲ寺薗与次郎政職

村上源氏宇野家系ヨリ吉井カ賀守ノ姫ヲ守リシカ
浦上討手ノ大将トナリ死ス時ニ寺ノ人々細川援兵ヲ待テ
三石城ヲ破リ浦上村宗ヲ播州宇野里ヘ迫行キシヲ追テ討取
ル寺一族此城ヲ守リ今天川ノ先祖ナリ

高峯城 神東郡 栗賀庄 城主 津戸孫四郎祐国

赤松ノ族永正ノ戦ニ武功アリシ人ナリ大永年ニ浦上退
去評議アリシ所ナリ

稲荷山城　同郡　永良ノ在城主　永良近江守雅親
廣瀬孫四郎親茂　手ヨリ突棄朝水城主ニ来ル（親ノ誤リナルカ）
嘉永三年十月廿三日卒ス

常屋山城　神西郡　高岡ノ郷　常屋村　城主　堀屋伊賀守光氏
先祖ヨリ赤松ノ幕下

矢田部山城　同郡　北條ノ郷　矢田部村　城主　大垣越後守光氏
赤松ノ幕下

田野山城　神西郡　浦条ノ郷　田野村　城主　堀兵庫頭満秀
管家ノ一族赤松ノ幕下天正ノ人其子出雲守満利

野村山城　多可郡　野村　城主　有隣理大夫重利
赤松ノ一族大永ニ武功アリ

島村城　多可郡　島村　城主　島村備中守貴則
浦上ノ家臣撰加野里合戦ニ敗レテ海底ニ没其霊魔ヲ俗ニ云フト伝ス

大屋山城　神東郡　大屋村　城主　大屋兵庫頭奥次

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

赤松幕下天正年中居城ス

上野砦　神東郡　丹波ノ卿上野村　領主　大塚将監

赤松氏幕下永正年久

須賀砦　神西郡　領主　須賀院隼人

中村砦　印南郡　中村　領主　花村将監

恒屋家老永正ノ人

梢尾砦　神東郡　梢尾　領主　栗田半左衛門

赤松幕下

牛尾　神東郡　牛尾　領主　牛尾源左兵衛

永良家永録ノ人

並木　印南郡　吉田　領主　吉田左近

恒屋家人

田口　神西郡　田口　領主　肥田右エ門尉

圓山　揖東郡　丹山　領主　圓山兵庫頭

記註ス幕下永録ノ人

小松　印南郡　小宅ノ卿行山村　領主　小松右エ門

並木　木ハ樹ノ誤　印南郡左　用領主

記註ス赤松ノ幕下

永録ノ頃居住セシ由　赤松左エ門則兼

中 播東郡神村 領主 圓尾衛門太郎
訴訟幕下永録ノ人

飯盛山城 神東郡 尾形 領主 高橋備前守
赤松幕下永録ノ人

瀬加砦 同郡 領主 大田通夫（同源太夫）
砥堀 同郡 砥堀村 領主 隈山移理進
赤松幕下其子孫太夫ハ別所長治ノ三奉下

南山 播東郡 鵤庄 領主 五百井左近繁廣ノ
赤松幕下永録ノ人

山田 同郡 大田卿領ノ山田村 領主 竹川主殿助

廣田 同郡下大田村 領主 廣田治郎兵衛

岸 訴訟幕下永録ノ人 同郡四斗村 領主 圓尾左エ門尉氏

香山 播東郡香山村領主 香庵彈守

寺内 同 郡當木村領主 八見石見守

中 同 郡中之主領主 松原掃部介矢

榮 播西郡榮村 領主 栅花房勘賀
浦上ノ家臣永録ノ人

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

藤原　川部　藤原　領主　藤原李工
甫上、家臣同し頃ノ人
千本　川部　千本　領主　菊本左内
龍野幕下天文ノ人
男山此石　川部小神村　男山内膳近方
投石　龍野幕下永錄ノ人　川部　細干　黒嵩
赤松、幕下元通ノ人
竹万　龍野幕下元亀ノ人　川部　東条元　竹万村
小犬丸　龍野幕下　川部　市場郷　犬丸村
山崎　飾東郡　馬田元　山城村
天正ノ人
鞍橋山　川部　福井元　家島
天正頃置楯城、幕下
苔氏助五郎元通
莫保山　川部　大笹郷　莫保村
赤松幕下
長濱五郎長秋
有明山　川部　摂津山
天正ノ人
白國備前守宗政
山眠　川部　山眠村
小寺氏、幕下天正年ノ人
莫保大膳
同二郎左エ門
安藝法印休叟
山眠右郎左エ門

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

安積郡　宍粟郡　安積村
朝水宇野氏ノ二葬下天正ノ人　安積将監
嵯峨山　同郡　嵯峨村　嵯峨山右エ門尉
廣瀬宇野葬下天正ノ人
黒岡　揖東郡　黒岡村　鎌田源左エ門久種
天正ノ人大田ノ家臣
下村　同郡　下村　安見十郎太夫清行
西山　同郡　西嶺　沼田左膳元近
横大市　同郡　大市御横大市　横野主水
赤松葬下采錄人

桐野　同郡　林田庄　満大市村　桐野大膳亮
赤松ノ余流ヨリ其嫡ヲ桐野主税亮景貫ト云ヒ
同郡武其次十郎左エ門勝武大永頃就テ赤松村秀善
ヲ下ノ陣上ニ殺ス因テ勝武大永ノ末ヨリ
三ヶ年ノ間ニ七ヶ所ノ城ヲ取リ其ノ七郎勝條相續キケルカ天正
ニ至リテ亡ブ

乾野村　揖西郡　伊保庄　古城記
黒田二世ノ兵部少輔政村ノ二男十ヶ年村秀嫡子下總守
政秀永正ノ頃上討手將ト成功ヲ立テ其後陣上氏又西播
磨ハントセシ時政秀留猛ノ以テ之ヲ退ケ元亀元年
十月十日卒ス長子左兵エ尉廣秀城ヲ守リ天正ノ末
ニ至リ秀吉ニ從ヒ仕フ加藤嘉明ニ攻ル中廣ノ秀春

戦之ニ死ス其後慶長五年池田氏ノ隷臣尾但馬守長次在城ス元和三年ニ至リ小笠原信濃守忠真備中守寓セラレ居住ス寛永九年刑部大輔高知朝臣備中守ニ転ス此ノ間城ハ破壊ニ及ヒ元年以後暫ク中絶シ又城ヲ築キ城中ニ坂中務丞ヲ置キ安治元年以後代々相続ク

赤松文流浪士墓誌之

播陽古城記上終

播陽古城記下

別所城蹟

三木城　三木郡　入道尾左近将監ノ城ヲ別所小三郎長治

村上源氏具平親王ノ裔ニテ赤松入道円心ヨリ父ハ大ニ以テ安治ト云フ播州東ノ郡ヲ守リ羽柴秀吉ト確執及ヒ此城ニ據リ籠城セシ事前ニ見ユ

主賀相長臣三宅肥前守已下八千五百余騎天正六年ヨリ三年余ノ戦ヒ兵粮尽テ同年閏月十七日秀吉ニ乞ヒ自殺シテ城ヲ開ク

行年二十三歳友之ヲ賀相以下一族九人自殺シテ城ヲ開ク（後ヒ元）

平山城　三木郡　川左平山町

別所小太郎治定

長元參年十一月卅日卯後七百余騎此城ニ寄テ天正七年三月六日
秀吉ノ爲ニ責城ス

別所城

加西郡別所邑　城ヲ別所肥前守敦光
其手親王ヨリ苗裔則ち末長流ノ曾祖父ヨリ嫡子ヲ加賀守
藏治其ヲ大成ス安治ヨリ兼テ長流ノ曾祖父ヨリ嫡子ヲ加賀守
ト白連ト兼テ居城ヲ播山ノ麓ヨリ直家終ニ西ヲ圍ノ奪ヒシ
カハ安治此城ヲ保難ク三木ニ移レリ是ヨリ別所氏益盛ナリ
安治長子ハ則小三郎長治ナリ

白山城

飾西郡　靜之嶋城ヲ羽柴筑前守秀吉
天正五年三月秀吉信長ノ命ニ依リテ中國ヲ攻給フ時
先ツ書写山ニ登リ白山ノ土地拾ヲ移リ當國ヲ經テ別所氏ヲ攻
サセ給ヒシ所ニ居住ス

上月城

佐用郡上月村　城ヲ上月刑部輔景盛
赤松円心ノ一族速水武功多シ其ヲ上月二郎盛忠其ヲ兵
庫ノ三代相續セシカ永祿ノ末上月十郎左衛門尉ニ
浮田直家ヲ侵ス事ヲ得ス天正五年秀吉中國征伐ノ
月ヲ攻落シ尼ヲ勝久ノ居城ス
ニシテモ利氏ヲモ利元清ヲ
通直ヲ以テ之ヲ攻破リ尼ヲ父子自殺シテ落城ス

高倉山城

佐用郡山脇村城ヲ

大田文等毛利氏ノ領ト為リ秀吉書ヲ下シテ金屋城ヲ
即秀長ニ属シ来援ス宇村ヲ三千余騎ヲ所ニ遣キ七月城後詰セ
シムト雖モ毛利大軍ニ敵スル能ハス書写坂本ニ退キケン

野口城

加東郡　野口正寺家ヲ拠ル　城主長井四郎左衛門尉

別所長治ノ叔父吉親天正六年四月秀吉ニ属シ坂本ヲ退発
セシ旨ヲ聞キ八月三日降人ニ出ラ落城ス

神吉城

平南郡　神吉庄ニ在リ　城主神吉民部大輔頼隆

長治ノ族神吉ノ庄一万石ノ領主ナリ織田信忠滝川一益麾任
ス光秀属将木村重茅三万余騎ニテ之ヲ攻ム頼隆信能防ク
時ニ作用信盛謀テ頽ラシ頼隆カ伯父神吉藤大夫ヲ返ス

忠セシメ降ラシムルニ及ヒケン

志方城

平南郡　志方庄　城主櫛橋左京亮伊則

長治ノ一族一千余騎ヲ以テ同月二箸城ヲ攻ム伊則能守リ之カトモ大軍ニ適スル能ハス
八月十日ニ降集ニテ落去ス

淡河城

三木郡　淡河　城主淡河弾正定範

長治ノ一族三百余騎ヲ以テ箸城ヲ助ケ秀長一千余騎ヲ以テ之ヲ攻ム
定範防ク能ハズ舎弟新三郎ヲ遣ハシ自殺シテ落城ス

國府城

飾東郡　三郎右衛門尉　城主毒鹿孫三郎長宗

元弘ニ赤松円心ニ属シテ武功大ニ著ハシ見元大夫ヨリ其後

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

天正八年六月寺官兵衛尉秀隆ノ居城トナル是ヨリ先祖宇多源氏ヨリ
佐々木黒田判官高満采邑十郷ヲ以テ父ノ黒田下野守満重ヲ奉
田村ニ住ス嫡子官兵衛ハ姫路ノ城主ヲ奉リ姫路ニアリ天正五年秀吉ニ従テ中国ニ
姫路ニ居城ヲ定メシヨリ自ラ圭蔵国府城ニ移レ其後大功
ヲ顕シ三万石ヲ領シ黒田氏ノ祖ナリ

英賀城　飾西郡　英賀庄　古城主吉川家其後　中富村　三木右馬頭通近ノ通

此先祖ハ皇霊天皇ヲ伊豫親王後裔ニシテ
五男ヲ通直ト称ス戦ヒ毎ニ其ヲ通近ニ播州ニ来リ
松ヶ頼ニ居レリ其ヲ三木左門ノ郎ト通武赤松満祐ノ聟タル
其ヲ通安ノ名ノ大名ニ城ニ擁ス山名細川ニ亡サレ其後

討死

山崎此名　飾西郡　英賀郷　山崎邑　数代領主ナリ故ニ其末孫山崎孫左京進播通

町ノ砦　同郡　英賀郷　領主　丁ノ坪　是英賀合戦ノ義ノ重ニシテ戦死ノ其後ヲ黒田兵有ガ守セシ

岡田　同郡　英賀郷　岡田村　領主　岡田五郎四郎一武

討ニ当国ニ入ル時ニ未通矩政則ニ仕ヘ功ヲ顕ハシ城ニ住ス天正マテ
八代相続其時ニ未帰郎ト通秋ト云フ明智ノ味方ニ
手切ト呼ヒシヨリ通秋ニ未氏ト緑者ヲ
英賀ノ攻ハ三木一族三井新右衛門尉井上重三郎
野中源十郎已下八百三十三人討死ニテ
天正八年二月十三日英賀城ヲ
山崎此名　飾西郡　英賀郷　山崎邑　数代領主ナリ故ニ其末孫山崎孫左京進播通
討死

町ノ砦　同郡　英賀郷　領主　丁ノ坪　是英賀合戦ノ義ノ重ニシテ戦死ノ其後ヲ黒田兵有ガ守セシ

岡田　同郡　英賀郷　岡田村　領主　岡田五郎四郎一武

三木ノ同家天正ノ乱ニ尚田清大夫通躰トシテ侍大将トシテ武功ノ顕シ討死ス

岸岩城　飾東郡　領主　森崎主殿某

英賀ノ幕下当部善祥坊之ヲ攻ム此所ノ領主トナル秀吉ノ後ヒ功アリ天正九年六月羽柴秀吉鳥取ヲ攻ムルニ及ヒ善祥坊ニ守ラシメ備中ニ発向ス

石守城　賀部　城主　中村新五郎重房

加納庄石守邑

元ハ別所長治ノ幕下長治滅亡ノ後秀吉ニ降リ別所一門尉重棟ノ係之ヲ追ヒ利功顕ハシ討死ス

豊地城　賀部　城主　別所山城守賀相

東條谷部市邑

長治執権別所山城守賀相ノ舎弟ナリ永禄八年三好将軍ヲ弑セシ時公方ノ一族三好追討ノ兵ヲ集ム長治父安治偕ニ應シ重棟モ忠戦ノ働キ賞アリ重棟其功誇ノ一族兄弟トモ不和トナリ秀吉ノ後ヒモ城ヘ退去シ後又在山城ニ移ル石義人ナリ

庄山城　飾東郡　古城主　別所山城守賀相

星田庄邑

長治ノ伯父天正六年三木城籠リ武功ノ顕ハシ討死ス同八年三木落城ニテ秀吉ヨリ受ケ守ラシム今ノ姫石城ノ柿本人丸祠アリシヲ元和年中小笠原右近太輔人丸廟ノ東ノ山ニ移シ其後ニ城郭ヲ築キケン

端谷城　飾西郡　城主　赤松五郎左エ門範弘

中田谷村穴居

大永年赤松氏浦上方叛臣尽セシ人ナリ其長子赤笠豊前

守範景ハ三木別所ノ乱ニ忠戦シテ討死ス

林ノ城　明石郡　林村　城主　大屋肥後守某

三木別所ノ幕下三木乱ニ武功アリ

奥住城　同郡　奥住庄　城主　奥住大夫判官長範

赤松ノ幕下文和年中神南合戦ニ武功アリ

天正ノ別所築城ノ時其孫奥住左近武功ノ顕ル

林山ノ城　加東郡　河合ノ庄　城主　油井出羽守勝利

長沼ノ幕下三木ニ籠城シ忠戦ス

垂井城　同郡　城主　蓬葉若狭守

進仁ニ赤松政則当国ヲ入給フ時忠功アリ

嶋村城　同郡　河合郷嶋村　城主　栗生右馬頭

赤松ノ幕下吉野合戦ニテ忠戦シテ討死ス

栗生多左衛門勇戦功アリ

岡ノ城　加東郡　栗生村　城主　丹生大郎左エ門

金権城　中村正満カ家臣長禄年ノ人

来住城　同郡　来住郷　来住村　城主　来住安芸守景政

長沼ノ幕下其先ノ清和源氏多田満仲枝ナリ流ナリトゾ其嫡子来住源三郎景利ト共ニ三木乱ニ侍大将トナリ武功ヲ顕ス

今ニ子孫来住ニ住ス

小野城　賀茂郡　城主　小野権右エ門某

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66　ガラス使用

別所幕下

高砂城　賀茂郡　御討死城主　高砂

別所ノ幕下天正三高砂城ヲ守リ中国吉川元春小早川隆景ト計リ三木城へ兵粮ヲ運送ス秀吉之ヲ聞キ海上ヨリ之ヲ遮ル此時兵火ノ為ニ高砂社相生ノ松又煙トナッテ失ケル其後慶長頃池田輝政姫路ニ入ルヤ家臣中村主殿ノ介ニ四千五百石ヲ禄侍百騎ノ添ヘ梶原カ城跡ヲ最トシテ此浦ニ目付ヲ命セラル武威守護ノ時相続テ日置豊前守此浦ヲ守ル後故カヲテ之ヲ崩ス此時賞浦牛頸天皇社モ造営アリシナリ

滝野城　加東郡　滝野村

赤松左兵衛尉氏重

父刑部少輔輔政七條家ヲ継ク

中通手城　印南郡　志方庄　岡村

後上總助ヨリ七人築ク所ナリ父ハ刑部則繁ノ嘉吉ノ年中播磨国美嚢郡房山城主ナリ中通手ヲ中絶ニテ應仁ノ政則當國ニ入ル時則繁忠功アリテ此城ヲ賜ヒ其長男彦二郎政景ニ四男二郎景頼其子彦二郎秀光相續セシカ天正三至テ退転

北脇城　印南郡　大塩ノ庄　北脇村　城主　大塩二郎景範

其長男刑部少輔光文ト中神南合戦ニ功アリ天正ニ大塩二郎左衛門少尉ト改メ別所幕下忠戦ノ功アリ

福井城　同郡　同庄　福井村　城主　糟谷助右エ門

後ニ母ノ姓ト改メテ

戎獄七槍中天正五年秀吉當國ニ入ルや先糟谷ヶ家休息し夫より書写山ニ登ル比時ニ播州福井ニ領し別所幕下ニありしかとも秀吉の恩ヲ蒙りしニ又ハ秀吉ニ後ヒ忠功アり

神木岩　印南郡　平之庄　神木村　領主　高橋源左ヱ門
天正ノ頃志方ノ幕下

臭崎　同郡　領主　伍田長兵衛
天正ノ頃志方ノ幕下

助永　同郡　志方庄　助永村　領主　不知

櫛橋左京亮カ枝城ト

大日山　同郡　阿弥陀　領主　薗山右近清通
長沢ノ幕下

井口　印南郡　平井卿　井口村　伊藤小介郎
志方ノ幕下

中筋　同郡　伊保庄　中筋邑　曽根藤四郎
長治ノ幕下

長砂　同郡　加古庄　長砂邑　生地市介
長沢ノ幕下

細田　同郡　加古庄　細田村　船橋左エ門
天正ノ頃長沢ノ幕下

宗佐　加古郡　望理卿　宗佐村　上原兵庫頭
長沢ノ幕下

荻田此名　加西郡　荻田村　吉良田刑部助勝利
慶仲赤松政則ニ忠功アりし人

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

山下　加古郡　野上郷　山下邑　別所、幕下

中野間　同郡　同郷　中野間谷

野上　同郡　同郷　野上谷　中西邑　天正ノ別所、幕下ナリ

姫路城　飾東郡

赤松筑前守貞範四心ノ男　貞和年中之築ク其後赤松政則當國ヘ入ルヤ先此城ニアリ文明元年當國ヘ移ルニ及ヒ此城ハ小寺伊勢守豊職之ヲ守ル其子加賀守則職其子美濃守政隆猶子美濃守祐隆相續テ守リ

浦上入松　中野間伊賀守政廣

岩崎源兵衛

ケルカ羽柴秀吉當國ヘ入ルヤ及ヒ孝祐隆秀吉ヲ此城ニ勸メ自ラ鹿妻國府山ヘ移リテ其子孝隆迫ヰ城ニ居住ス羽柴秀吉三木氏ヲ亡シ因ヲ鳥取ヲ攻落シ後三重ノ天守ヲ造リ之ニ居ル天正十年明智光秀信長ヲ弑セシカハ秀吉急ニ秀長ヲ此城ヲ守ラシメ京都ヘ進発ス明智ヲ亡シ給フ秀長後ニ和州郡山城ヘ移リ其次ニ木下家定續イテ守ル慶長五年ニ至リ池田輝政此城ヲ賜ル部ヲ當ノ郭外ニ市町ヲ築キ今ニ繁昌ス又名城ト稱スル所ノ櫓ハ輝政在住ノ西暦一六〇九年ニシテ同十四年正月二十四日ニ落成ス其大長子武藏守利隆備前ヘ入テ相續ク元和二年六月十三日死ス同三年本多忠政勢州桑名ヨリ入テ居住ス寛永八年八月十日卒ス長子中務大輔同年ニ卒ス同甲斐守政朝當國ヘ帰リ同十五年十月十日卒ス松下

下總守清臣寛永十六年和州郡山より入て續て長子下野
守清良相續又其後松平大和守直基羽州山形より入て居
住又同年死去長子藤松相續又翌歳越後村上へ移れ神保
式部太輔忠次慶安二年奥州白河より入れ寛永五年三月
九日卒去長子刑部大輔政房同七年四月卒去其嫡
子無之助政倫相續越後村上へ移れ松平大和守直矩
寛文七年八月村上より入れ天和二年六月七日豊後飛騨移
本多中務大輔政武同日奥州福島より入れ同吉重良秀
マデ相續し寛永元年越後村上へ移れ榊原式部大輔政
邦寛永元年越後村上より入り長子式部大輔政祐至
當保十七年卒去國家長久

播陽古城記　下大尾

赤松文流浪士某誌之

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『播陽古城記 : 2巻』 請求記号 216.4-B66
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『播陽古城記 ： 2巻』 請求記号 216.4-B66

ガラス使用